
今後の8市連携による取組について

1. 8市連携の基本的な取組方針

2040年頃における課題（少子高齢社会、公共施設老朽化、東京都区部への一極集中等）を見据え、基礎自治体ならではの視点から、水平・対等の関係で、圏域全体の「行政サービスの維持・向上」「地域コミュニティの活性化」「持続可能な成長・発展」を目指すため、8市が連携して短期、中長期の両面から取り組みます。

【短期的な取組】

各市が現在取り組んでいる多様な主体との連携等に関する施策（好事例）について、取組状況・効果を8市で共有するとともに、可能な市間での連携、更には順次拡大を検討します。

【中長期的な取組】

少子高齢社会、公共施設老朽化、東京都区部への一極集中等の中長期的な共通課題の研究・検討を行い、新たな連携施策につなげます。

2. 8市連携の推進体制

（1）8市連携市長会議

- 基本方針・取組状況確認の場
連携の必要性・目的・基本方針や取組状況を確認する場として、適宜、開催します。
- 対外発信の場
連携の取組内容や効果、都市部の課題解決モデル等を対外発信する場として、圏域のみならず日本全体の発展に貢献することを目指します。

（2）8市連携部局長級会議（仮称）

- 8市における先進的な取組・効果の共有等、分野横断的な視点で連携に向けた協議と情報交換を定期的に行います。
- 連携への具体的検討や中長期的な共通課題の研究のため、必要に応じてワーキンググループ（課長級会議）を設置します。